

事前に提出いただいた指標の達成状況に関する意見等について

No	P	指標	委員名	指標名	意見等	備考
1	1	1-1	吉岡委員	自主防災組織活動カバー率	近年2年間連続して悪化傾向にあるが、改善の見通しはあるのか。若者の参加促進による改善事例などはないか。	
2	1	1-1	藁谷委員	自主防災組織活動カバー率	①高齢化に対応した施策展開についてどのように考えているか。	
3	1	1-1	藁谷委員	自主防災組織活動カバー率	②自主防災組織の活動取組状況が悪化している。平成27年度以降で悪化している市町村はどこか。比較できる資料があれば、知りたい。ご提示ください。	
4	1	1-1	藁谷委員	自主防災組織活動カバー率	③各自自治体単位での過去5年程度のカバー率を示して欲しい。活動実績あり組織カバー率に途中で、変わったことでの、各自自治体ごとの変化した差を観たい。	資料 配付済み
5	1	1-1	藁谷委員	自主防災組織活動カバー率	④「自主防災組織の活動促進事業」や「防災出前講座」の実施状況と活動実績がなく、自主防災組織のカバー率が減少している自治体に対して、これらへの事業に参加しているのか。参加していないのであれば、積極的に推進すべきである。	
6	1	1-1	藁谷委員	自主防災組織活動カバー率	⑤新しい事業として、『地域コミュニティ強化事業』が開催されるが、自主防災組織活動カバー率が減少している（活動できていない）自治体地域に展開できているか。	
7	1	1-2	藁谷委員	本県における防災士の認証登録者数	①防災士の活用は、どのように考えているか。	
8	1	1-2	藁谷委員	本県における防災士の認証登録者数	②県防災士会との連携とあるが、県が養成研修で防災士と県防災士会との連携はどのように行うか考えはありますか。	
9	1	1-3	藁谷委員	避難行動要支援者個別計画の策定市町村数	目標達成に向けたH30年度の取組（方針）に市町村が実施する防災訓練に避難行動要支援者の避難訓練を取り入れるとあるが、いくつの市町村が実施または実施予定かは分かりますか。また、訓練に関する助言等を行うようになっていますが、どのような助言を行いましたか。教えてください。	
10	2	1-4	藁谷委員	福祉避難所指定市町村数	①未指定市町村（富岡町、大熊町、双葉町、浪江町）については、いつごろまでに完了予定（目標）にしているのか。	

11	2	1-4	藁谷委員	福祉避難所指定市町村数	②災害時に福祉避難所の開設・運営が円滑に行えるよう、 <u>継続的な訓練の実施</u> としているが、 <u>今年度はどのように取り組むのか</u> 、具体的に知りたい。	
12	2	1-5	藁谷委員	消防団員数の条例定数に対する充足数	現在、総務省消防庁が検討している「 <u>大規模災害団員（仮称）</u> 」について、 <u>今後、この制度が導入された時はどのように関わるようになるのか</u> コメントできる範囲で示してほしい。	
13	2	1-5	田崎委員	消防団員数の条例定数に対する充足率	最後の行は以下のように変更を検討してはいかがでしょうか 例：の募集・利用促進に努め、団員数の増加を図る。	訂正 済み
14	3	1-6	藁谷委員	住宅火災による死者数	住宅火災警報器の整備促進と防火の呼びかけを継続実施することで、死亡者数の低減を図るようにしているが、その担い手の消防団員等は、団員数が減少したり、新たな担い手がいろいろな事情で少なくなっている。別の方法を検討してはいかがでしょうか。例えば、自主防災組織の活動が出来ていないところは、カバー率から除外されていくので、 <u>自主防災組織の活動として町内の住宅火災警報器の設置状況アンケートをまとめてもらい、未設置や設置しても古ものの交換促進などに取り組めば、一石二鳥ではないでしょうか。</u>	
15	3	1-7	藁谷委員	土砂災害警戒区域指定率	① <u>何年度に100%達成見込みか確認したい。</u>	
16	3	1-7	藁谷委員	土砂災害警戒区域指定率	② <u>指定前のところで災害が発生したところはないのでしょうか。あれば、事例を教えてください。</u>	
17	3	1-7	藁谷委員	土砂災害警戒区域指定率	③喜多方市の地すべり対応状況について、ご報告をお願いします。	
18	4	1-8	藁谷委員	被災宅地危険度判定士の人数	① <u>目標値に700人以上とありますが、700人以上登録してもらおうと適正なのか、分からない。</u>	
19	4	1-8	藁谷委員	被災宅地危険度判定士の人数	②5年毎の登録更新であるようだが、次の5年後にはどのようになるのか予測して、 <u>これからの5年間に被災宅地危険度判定士の適正人数の維持ができるように進めてください。</u>	

20	4	1-8	田崎委員	被災宅地危険度判定士の人数	判定士の高齢化が今後も予想されると思いますが、 <u>年代毎の人数</u> （おおよその割合でもよいです） <u>はわかりますでしょうか。</u>	
21	4	1-9	藁谷委員	被災建築物応急危険度判定士の人数	①目標値にある3,000人以上が適正な人数なのか、見直しも検討するとありますが、そうすべきと考えます。	
22	4	1-9	藁谷委員	被災建築物応急危険度判定士の人数	②被災宅地危険度判定士とも合わせて、 <u>近隣各県との応援協定で、不足数をカバーするなどを検討してはいかがでしょうか。</u>	
23	4	1-10	藁谷委員	大規模災害に備えて、避難場所の確認や食料の備蓄などを行っているかと回答した県民の割合	①各地の訓練に参加した際に非常持出品等を持参しての参加者や自宅で備蓄品等を点検された方を確認しましたが、10%にも至らない地域もまだまだたくさんあります。このことから、 <u>（避難場所の確認や食料の備蓄の必要性について）もっとPRが必要か</u> と思います。	
24	4	1-10	藁谷委員	大規模災害に備えて、避難場所の確認や食料の備蓄などを行っているかと回答した県民の割合	② <u>そなえるふくしまノートを有効に使用してPRを推進すべき。</u>	
25	7	4-1 4-2	吉岡委員	DVセンター設置数、女性相談員配置市町村数	<u>単独市町村の整備が難しいならば、広域圏単位など方針を変えてはどうか。</u> 現状の整備水準で問題はないのか。	
26	9	5-1	柳沼委員	交通事故死亡者数	「平成32年度までに死者を60名以下にする」とい目標を達成するには厳しい状況」は削除してもいいのではないか。	削除済み
27	10	6-1	穴戸委員	がん検診受診率	指標の推移の図で、目標値は、H32年の目標値に変更すべきではないか。	訂正済み
28	10	6-2	穴戸委員	特定健康診査実施率	指標の推移の図で、目標値は、H32年の目標値に変更すべきではないか。	訂正済み
29	10	6-3	横田委員	献血目標達成率	何に対するの比率なのかわからない。目標数字があるのであれば明記を。	追記済み
30	11	6-5	柳沼委員	自殺者数	<u>「過去の震災では・・・自殺者が増加した」とは、具体的にどういうデータがあったのか？また、「震災関連自殺」というカテゴリーの数字ではないのか？</u>	

31	12	6-7	穴戸委員	小児救急医療電話相談件数	今後の課題が「なし」とのことであるが、 <u>継続して「小児救急の適切な医療機関受診をアドバイスしていくこと」が重要な今後の課題であろうと、思われる。電話相談のみでいいのかを考える必要があると思います。</u>	
32	12	6-9	柳沼委員	小学校児童の栄養不良や肥満、やせ傾向の割合	<u>肥満とやせを併せた指標では分析しづらいのではないか、分けられないか？</u>	
33	13	7-1	横田委員	不良食品発生件数	不良食品のうち表示違反が一番多いとのことだが、6次化商品では違反がもっとあると思われる。 <u>この違反業者は巡回などで見つけているのか、通報など情報提供あったものか、発見方法が知りたい。</u> また、 <u>7-2にある食品表示法違反の数字は7-1に反映しなくてもよいのか？</u>	
34	17	8-2	吉岡委員	工場・事業所等におけるリスクコミュニケーションの実施件数	近年3年間連続して減少しているが、 <u>改善の見通しはあるのか。平成30年度は中小企業に対する普及を進めるのか。(資料2、p60、No10?)</u>	
35	19	8-7	吉岡委員	産業廃棄物の不法投棄等の残存件数及び残存率	<u>平成25年に残存量が大幅に減少している理由はなにか。またそれに反比例して残存件数が増加傾向にある理由はなにか。</u>	
36	21	9-1	田崎委員	消費生活に関する相談員がいる市町村数	広域連携体制は県内にどのくらいありますか、また広域連携体制をとっている市町村の数を教えてくださいませんか。	追記 済み
37	24	11-1	藁谷委員	地域住民やNPO等による地域づくり活動に積極的に参加していると回答した県民の割合	<u>①草刈でも、ゴミ拾いでも地域づくり活動かと思います。地区の防災訓練も自主防災組織活動もその一つかと思います。NPO法人やまちづくり団体として括ると参加率は下がると思います。</u>	
38	24	11-1	藁谷委員	地域住民やNPO等による地域づくり活動に積極的に参加していると回答した県民の割合	<u>②具体的にどのようなNPO法人活動団体やまちづくり協議会のようなところがあって、「そこで活動してください。」といったPRが必要だと思います。</u>	